



11/3祝 ホームカミングデー 特別講座

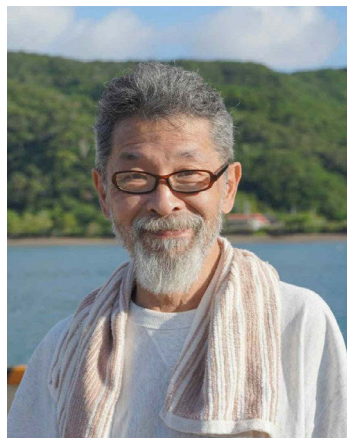
奄美大島のマンガース根絶を見届ける

時間：13:00～15:00

場所：B棟5F B511講義室

一般の方の参加也大歓迎！
直前でもお申込みできます！

奄美大島に定着していた特定外来生物のマンガース。マンガースの被害は、農作物や養鶏、さらにはアマミノクロウサギやアマミヤマシギ等の在来種にまで被害が及んでいて、在来種の姿がほとんど見るできない「死の森」になっていたのです。多くの生態学者から奄美大島での根絶は不可能と言われましたが、2000年から始めて2024年9月、環境省は「マンガース根絶」を宣言。どのようにして根絶宣言を成し遂げたのか、阿部慎太郎先生が講演していただきます！



阿部慎太郎先生（V36期）

1988年 日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科を卒業後、奄美大島へ渡島。(株)野生動物研究所での勤務の傍ら、マンガースの定着を知って、NGO奄美哺乳類研究会を作り、調査。

1999年、環境庁（現：環境省）へ転職、奄美野生生物保護センターでマンガース防除を担当する。2005年の外来生物法の施行に伴い、根絶計画と「奄美マンガースバスターズ」を結成。2007年、那覇へ異動、管内の奄美や沖縄やんばるのマンガースほか各種外来種防除にも携わる。